

# 一般質問

本定例会での一般質問は、3月13日から3月15日までの3日間行われ、17名の議員が、35項目について質問しました。その質問と答弁の要旨をお知らせします。

一般質問とは？  
議員が市の仕事全般について、市長などに報告や説明を求めたり、将来の方針等について質問することをいいます。  
一般質問は、各定例会の本会議で行われます。

聞いてみたいな、こんなこと

清水晃  
議員

## ゲンジボタルの保全是

更なる保全活動に努めている



保全が期待されるゲンジボタル（イメージ）

**問** 平成24年度施政方針について  
廃校となる小宮小学校に自然体験学校を開校するとしているが、秋川流域の深沢には、関東型の固有種であるゲンジボタルが生息しており、飼育方法が確立していないため絶滅の可能性がある。ゲンジボタルを繁殖させ、保全することが急務であると考えるが、本市

の見解を伺う。

### 環境経済部長

深沢地区を含む三内川に生息するゲンジボタルは、平成13年の国の調査によると、100%純粋な関東型であるとされているが、現在は関西型との交配が進み減少傾向にある。また、養沢川、横沢入、鯉川、南郷用水路などにもゲンジボタ

ルが生息する地域があり、「ホタルの里づくり」推進の取組み、地域団体との協働による更なる保全活動や支援の拡充に努めている。自然環境教育の拠点となるこの施設で、ホタルに関する体験学習を始め、森の多面的な機能やその重要性などの体験を通じて、次代を担う人材を育てていきたいと考えている。

村木 英幸  
議員

## 地域包括ケアシステム構築の取り組みは 認知症支援の充実などを進める



障害福祉計画、高齢者保健・介護保険事業計画書

**問** 福祉について  
①第5期高齢者保健福祉・介護保険事業計画について  
ア. パブリックコメントには、どのような意見があったか。  
イ. 地域包括ケアシステム構築へ向けての取り組みは。  
ウ. 在宅サービス事業者の誘致が必要だと思うが

**健康福祉部長**  
①ア. 事業に対する感謝の言葉と合わせ、歩けなくなった高齢者が利用できるタクシー券交付の要望があった。  
イ. 認知症支援の充実、日常生活を支えるサービ

**他に教育、郷土の恵みの森について質問した。**  
②ア. 1件もない。  
イ. 十分な数の就労支援事業者が確保できるよう、周辺市町村と連携を取りながら情報収集・提供を行い、多様な事業者の参入を促していく。

どうか。  
②第3期障害福祉計画について  
ア. パブリックコメントには、どのような意見があったか。  
イ. 地域生活への移行、就労支援が課題としてあげられているが、主な取り組みはどのようなものか。

スの充実、医療と連携強化、高齢者の居住にかかわる施策との連携を進めていく。  
ウ. 介護サービスの基盤整備は少しずつ進んでいるが、定期巡回・随時対応型訪問介護看護と複合サービスは、需要の動向などを踏まえ、整備を検討したい。

子籠 敏人  
議員

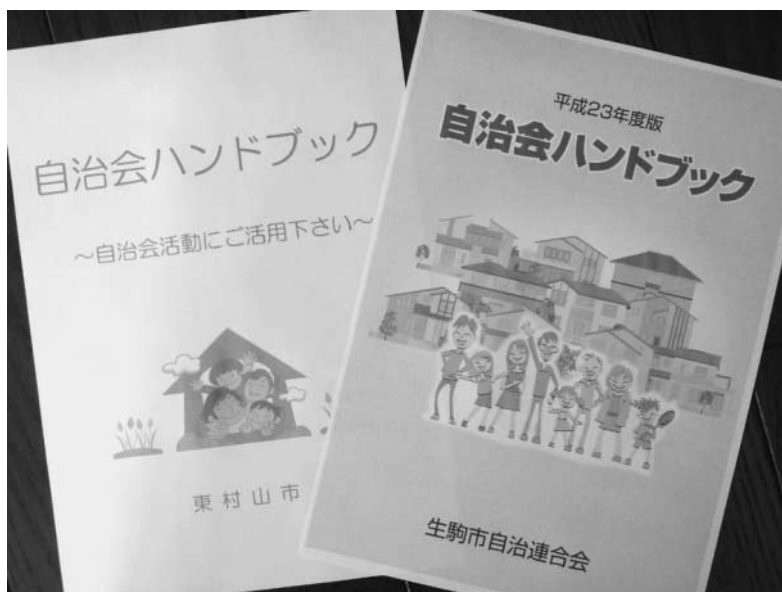
## 町内会・自治会ハンドブックの作成は

作成を検討したい

**問** 町内会・自治会ハンドブックの作成について  
町内会・自治会では、行政からの事務依頼の多さや、担当窓口の分かりにくさなどから、役員が負担を感じ、役員の担い手不足も生じている。そこで何う。

**総務部長**  
① 町内会・自治会の会長及び役員業務は多岐にわたり、多忙であることは十分認識している。少しでも負担を軽減し、町内会・自治会の運営がスムーズにできるよう、「町内会・自治会ハンドブック」の作成を検討したい。また、作成にあたってはイラスト等も取

② 町内会・自治会から出される補助金などの各種申請書を、市のホームページから手軽にダウンロードできるようにならないか。



自治会ハンドブック（他市）

り入れ、見やすく読みやすいものにしていきたい。  
② 申請書や補助金、団体登録などは多岐にわたる。それぞれの担当課と調整をしながら、申請様式をダウンロードできるような体制をとっていきたい。

**他に特別簡易型総合評価一般競争入札、郷土の偉人を生かした教育とまちづくりについて質問した。**

問 教育について

新学習指導要領の総則に「生徒に生きる力をはぐくむことを目指し」とされている。基本的な生活力、生きる力をはぐくむ実践的な手立てとして、キャンプ活動が大変有効であると考え以下について伺う。

① 南秋留小青少年健全育成地区委員会の泊まりキャンプがひとつのモデルになると思うが、他地区の活動状況は。

② 文部科学省も防災キャンプを推進しているが、泊まりキャンプの拡充、働きかけは。

③ キャンプ活動に、施設の利活用、立地条件などから、閉校となる小宮小学校が最適と考えるが、今後の展開は。

生涯学習担当部長

① 南秋留小でのキャンプについては認識している。青少年健全育成地区委員会

12地区のうち7地区がキャンプをしており、このうち宿泊キャンプをしているのは3地区で、70人から100人が参加している。

② 青少年健全育成地区委員会連絡会等を通じ、趣旨を周知し、多くの地区でキャンプ活動をしていただくよう働きかけていく。

③ 子どもたちに豊かな自然を共有させたい。小宮小学校を自然体験学校と全国的にも呼ばれるような学校に上げていこうと思っ

市長

子どもたちに豊かな自然を共有させたい。小宮小学校を自然体験学校と全国的にも呼ばれるような学校に上げていこうと思っ

## キャンプ活動の拡充は

多くの地区で働きかける

松原 敏雄  
議員



南秋留小地区青少健キャンプ活動

細谷 功  
議員

## 高齢者等の見守り支援は

月2回程度の見守りを実施

問 高齢者対策について

① テレビ報道等で、高齢者夫婦や、高齢者を含む家族の餓死が続いて報道され、地域とのかかわりが重要視されている。本市では独居老人や高齢者夫婦に対し、見守りも含め、どのような対策・支援がなされているかを伺う。

② 本市では、報道にあるような高齢者の餓死や、死後何日か経過して発見された事例はあるか。

③ 本市で計画中の草花住宅では、他市で起きている地域とのかかわりが薄い世帯での死亡事故を踏まえ、管理上の対策を考えているか。

健康福祉部長

① 市では、高齢者が住み慣れた地域で安心して在宅生活を送れるよう、新聞配達時、郵便配達時及びごみ収集時の見守り、週1回の乳酸菌飲料配達時の手渡しによる見守りや、防災・安心地域委員会と協定書を締



見守りで安心な暮らしを

結し、地域の協力員による月2回程度の見守りを実施している。

② 市が過去5年間で把握している人数としては、4人である。

③ 草花公園の市営住宅では、高齢者の入居が考えられるので、生活相談員の配

置などについて検討している。

他に子どもを取り巻く環境と教育現場について質問した。

戸沢 弘征  
議員

自転車道と歩道の区分け実施は

警視庁等と連絡し研究したい

**問** 歩道の改善について  
歩道は歩行者と自動車との事故を防ぐセーフティネットである。最近、自転車は車道左側の通行が強化されているが、広い歩道では、自転車が走行できるようになっている。お年寄りや子

どもが歩道を歩いている、後ろから来る自転車の音が聞こえないことや、自転車の速度の出すぎから接触事故が多発している。先進市では、歩道の広さに応じ自転車道と歩道を分けるため、白線や色分け、看板で

周知している。本市でもモデル地区などを研究し、実施すべきではないか。

**総務部長**

① 現在、警視庁では、駅周辺の自転車が集中する地区において、モデル地域を設定し、面的な自転車通行の環境整備の検討を始めている。モデル地区には、道路交通環境の違いにより、港区品川駅周辺、江戸川区の西葛西地区、小平市の小平駅周辺地区が選定されている。

今後、これら事業の効果等の検証を踏まえ、市内で同様の対応ができるような場所があれば、警視庁や東京都と連絡を取りながら研究していきたいと考えている。



先進地の自転車道と歩道

小中一貫教育の早期実現は

平成26年度全校実施に向け準備

合川 哲夫  
議員

**問** 増戸小学校・中学校一貫教育について  
1月18日、増戸小・中学校一貫教育の研究発表会が開かれ、大変大きな成果があり、課題も浮き彫りになってきた。同時に、次第に現実味も帯びてきた。そこで以下に質問する。

① この発表会を見てどのような感想を持ったか。

② 両校の先生方は意欲的に取り組まれており、「若鮎プロジェクト」の指導段階表では、科目ごとに9年間の目指す児童生徒の目標を定めて研究してきた。両校の場合は立地条件も整っており、実現を早めてはどうか。

**指導担当部長**

① 協議を重ねて共通理解が図られ、充実した研究成果が発表できた。本市における小中一貫教育の考えや方向性を示すとともに、小中学校の教員が連携して小



隣り合う増戸小学校と増戸中学校

中一貫教育を進めていくためのひとつのモデルを示すことができたと感じている。

② 増戸小・中学校では小中一貫教育の先進的実践を進め、「小中一貫教育推進基本計画」に反映させていく。市内全地区で円滑に小中一貫教育を進めるため、保護者や市民の理解を得て一斉に始めることが重要と考え、平成26年度全校実施に向け、準備を進めていく。

他に五日市郷土館、増戸地区生活環境改善について質問した。

田中千代子  
議員

## 防災会議への女性の登用は

2名の女性が委員となっている

問 防災対策について

地域の防災力向上のため、女性の視点を生かした防災対策など、更なる充実を求め以下に伺う。

① 防災計画に女性の視点を反映させ、生活に密着した対応ができるよう、防災会議に女性を積極的に登用したかどうか。

② 要援護者への配慮を充実させるため、防災会議に保健師、看護師、介護士等専門職を登用したかどうか。

③ 避難所運営を、地域住民と一緒に考え取り組んでいく1つの手法として、避難所運営ゲーム（HUG）の活用が自治体で広がっているが、取り入れてはどうか。

総務部長

① 平成21年度から、J A 女性部と日本赤十字社から、計2人の女性が防災会議委員となっている。

② 地域防災計画の見直し時には、防災会議の下に専門委員として、保健師、介護福祉士等の専門職を置き、女性のニーズを踏まえた災

他に独身男女の出会いの場について質問した。



災害時帰宅支援ステーションロゴ

## 都道169号線工事遅れの要因は

用地買収に伴う資料作りができない

中村 雅一  
議員



都道169号線

問 都道整備事業と市の関係について

① 都道169号線の代継橋から秋留橋間部分の工事遅れの要因は何か。

② ①の件は、地権者の意見や要望を公平に聞き、解決策を進めるべきと思うかどうか。

③ 所有者の登記、公図の変遷の情報提供または、相続手続きの相談等を積極的に行うべきであるかどうか。

④ 地元から防災上の観点で、道路改良の要望があると聞くがどう考えているか。

都市整備部長

① 約370mの未整備区間については、公図と現況が異なり、用地買収に伴う資料作りができない状況となっていることが主な要因で、すぐには着工ができない状況にある。

② 今までも積極的に取り組んでおり、今後も地権者

の意見や要望を伺い、解決に向けて努力していく。

③ 西多摩建設事務所と市で連携し、地権者とも相談しながら、一日でも早い整備へ向け努力したい。

④ 防災の観点から道路の高さを上げてほしいとの要望が出ている。できる限り要望に沿うよう、東京都へ話をしていく。

他に市職員の労働環境等について質問した。